

# 紫 紺

〈題字〉故 花田 衛先生

2023年11月1日 第33号



発行  
熊本学園大学付属中学・  
高等学校 同窓会 紫紺会  
編集  
紫紺会広報・情報委員会

〈紫紺会事務局〉  
〒862-0971 熊本市中央区大江2-5-1  
熊本学園大学付属高等学校内  
〈事務局室別館〉  
〒862-0971 熊本市中央区大江2-1-71  
スポーツクラブ&スパ  
ルネサンス 熊本学園大通24 1F  
TEL・FAX 096-371-9333  
(火・木 13:00~16:00)  
<http://shikonkai.com/>  
[shikonkai@outlook.com](mailto:shikonkai@outlook.com)  
紫紺会公式 Facebook、Instagram も  
ご覧下さい！



## 剛 気 英 知 気 品 知

### Contents

同窓会長・学校長あいさつ	2
中高活動報告・2023年度入試合格者数	3
令和5年度大同窓会	4
令和5年度総会・年祝い会	5
令和5年度役員・代表幹事一覧	6
委員会・支部年間活動報告	7
東京紫紺会・県庁紫紺会・会務報告	8~9
現役生部活動報告	10~11
未来応援基金活用報告及び募金者一覧	11
紫紺ズームアップ ~各界で活躍する同窓生たち~	12~13
退職教員からのメッセージ	13
飾り馬奉納 秋季例大祭	14
大同窓会告知・代表幹事メッセージボード	15
令和5年度収支予算・ 事業計画・会費納入のお願い	16

## 卒業生約2万人の力で母校の発展へ尽力

熊本学園大学付属中学・高等学校同窓会 紫紺会

会長 木村 光男（16期）



紫紺会の皆様、こんにちは。会長を仰せつかっております、木村です。会報誌発行にあたり一言、ご挨拶申し上げます。日ごろから紫紺会活動、また、付属中学、高校、敬愛幼稚園、学園大学に対するご支援、大変ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症流行と共に始まった会長活動も、早4年目に入りました。昨年交替すべく、立ち上げようとした会長選考委員会の時、代表幹事の皆様のご好意により、会長としての活動が出来なかったのではと「思いやっていたら」、1年間統括させて頂くことになりました。この1年はどうにか色々な行事を執り行う事が出来ました。皆様には感謝申し上げます。

その中でも会長の役割の一つに学園の行事への参加があります。この1年も卒業式、入学式に参加させて頂くことが出来ました。皆さんにお伝えすべきは、一年または二年あるいは三年、コロナにより学園生活をともに過ごす事が出来ない生徒の皆さんがいた事です。卒業生の挨拶を聞く中で、三年間の口惜しさを滲ませながらも、周りへの思いやり、気配り、感謝の言葉を述べていた事に、何度も胸が、目頭が熱くなる思いをいたし、良い体験をさせて頂いた事に感謝しております。

この同窓生の若者を立派な社会人として、社会にデビューさせる力として、紫紺会に何が出来るかを皆で模索していきたいと思っております。ご協力宜しくお願いいたします。

今年には学園設立80周年を迎えました。先に歴代会長10名にて式典に参加して参りました。「師弟同行、自由闊達、金学一家」のもと、英知・気品・剛気を心に紫紺会、学園、中学、高校の益々の発展のために卒業生2万人余りの人の力で尽力して参りたいと思っております。同窓生一丸となって頑張つて参りましょう。ありがとうございました。

## 卒業生の存在を実感し社会のリーダーとして活躍を

熊本学園大学付属中学・高等学校 校長 高橋 裕文



紫紺会の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。第12代校長に就任しました、高橋裕文です。付属高校に24年間、付属中学校に12年間勤務し、現在に至ります。よろしくお願いたします。

さて、紫紺会の皆様には、日頃から大変活躍され、本当に誇らしく思っています。また、在校生の活動にも積極的にご協力いただきありがとうございます。現在、高校1年生が第65期生、中学1年生が13期生です。部活動では、高校ボート部が全国高校総体で男女アベックの第4位を飾り、中学校男子体操部が、九州大会で見事優勝しました。他の多くの部活動で全国大会に出場しました。

また、第70回NHK杯全国放送コンテストでは、放送部3年生山崎南さんが、アナウンス部門で全国3位に相当する「優秀賞」を受賞しました。体育系だけでなく、文化系でも活躍する生徒も出てきました。すべてにおいて、チャレンジする生徒が出てきた結果だと思えます。

さて、大学入試も今、年内入試と言われるぐらい、年明けの一般入試より年内の入試で定員を確保する状況が進んでいます。大きく分けて、学校推薦型選抜と総合型選抜に分けられますが、この総合型選抜では、受験生の提出書類のほか、面接や論文、プレゼンテーションなどを課し、受験生の能力・適性や学習に対する意欲などについて、時間をかけて総合的に評価されます。勉強だけでは足りません。何が問題なのか、どんな解決方法がある

のか、どうすれば解決にいたるのかなどを考え、対応できる力を試されます。

そのため、本校では「総合的な探求の時間」を「深学科プログラム」と名付け、校内では、「深プロ」と呼んで、さまざまな活動に取り組んでいます。これは、いろいろなテーマをグループごとに決め、その問題点を検討し、解決策について意見を出し合いながら、まとめ、発表していく活動です。自ら調べ、自ら考え、自ら発信するという流れです。学校内にとどまらず、地域社会に出て、いろいろな企業や生産者の方とお話をしながら、ときには市役所の担当課にもご協力いただきながら、活動しています。

この「深プロ」の活動の一つとして、「NEXT NEXUS」という活動名で、廃棄される食材を再利用する企画は、県内の熊日新聞やローカル番組でよく取り上げられています。また、古着を土代わりに使つて、植物や野菜を育てる企画「RECLOTH」は、全国放送のニュース番組「THE TIME」にも取り上げられました。

これらの企画は、生産者・製造者・販売者を繋いで、一つの製品を作り上げ、販売して、持続可能な活動に近づけていこうという試みです。生徒たちの活動意欲やバイタリティには、頭が下がります。今回の「NEXT NEXUS」では、大岡青果の月田さん（16期生）や木村のあられの木村会長（16期生）にとってもお世話になっております。

紫紺会の皆さんと、今後ともこういう繋がりが続き、在校生たちが卒業生の存在を実感し、感謝しながら、一歩一歩大人に育ち、社会のリーダーとして活躍できるよう期待しています。今後とも、本校へのご理解とご協力をお願いします。

最後になりましたが、紫紺会のみならずの発展を心からお祈りします。これからの学付への応援をよろしく願います。

# 中高活動報告

本年度は、5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に引き下げられ、また、感染者数も減少傾向にあったため、災禍の影響で自粛していた活動も、ほぼ、コロナ禍以前に戻すことができました。「第9波」という言葉も散見されましたので、完全に気を緩めることはできませんでしたが、9月30日～10月1日には、本校生が最も楽しみにしている行事、紫紺祭をコロナ禍以前の形に戻して実施しました。今年は2年生が担当した食バザーも、大盛況のうちに終えることができました。

さて、本校では現在、校内で「深化学化プログラム」(通称「深プロ」と呼んでいる探究活動に力を入れています。これは生徒が個人、あるいはグループで深く掘り下げてみたいテーマを選び、行政機関や企業、大学などの専門家のご協力をいただきながら答えを求め、様々な活動を展開していく、というものです。地元のテレビ局や新聞社によってその活動が取り上げられることも多く、「ガクフの深プロ」に対する認知度は高まりつつあると思います。また、この取り組みを始めて4年ほどとなりますが、今春に、中高合同の発表会を実施しました。2・3年生が半年間かけて深学科プログラムで調べた内容や取り組みをポスターにまとめ、各ブースで発表するという形をとりました。初めてのイベントでしたが、中高合わせて1400人と教職員が様々なテーマのプレゼンテー

ションについて議論する様子は、まさに師弟同行の精神を象徴するものとなりました。なお、この深プロの活動に関しては本校OBの方々にも多大なるご支援をいただいております。心より感謝致します。

進学実績に関しても、例年と違わぬ成果をあげてくれました。国立大学に関しては、141名の合格者を出し(うち現役生123名)、このところずっと県内の私立高校では最多の数を維持しています。また私立大学についても589名で、最難関大学にも現役合格者を出すなど、大いに奮闘してくれました。詳しくは下記の一覧表をご覧ください。

部活動においても、中学生は陸上部の生徒が私学陸上競技大会で最優秀選手賞受賞、また、九州中学校体操競技大会で男子体操部が団体優勝を果たすなど、秀でた結果を残しています。高校の方でも体育系では、ボート部男子が3種目、女子が2種目で、テニス部女子が3種目で、体操部も男子2種目、女子1種目で全国大会出場を勝ち取りました。加えて、うれしかったのが、本校に部が存在しない新体操、少林寺拳法の個人競技で全国大会出場を成し遂げてくれた生徒達が出たということです。文化系でも、囲碁部、放送部、百人一首同好会が栄えある全国大会出場を果たしてくれました。いずれも日々のひたむきな努力が結実したものだと思えます。

以上、付属中学校、高等学校の生徒達は、先輩方が築いてこられた伝統を汚さぬよう、日々精進を重ねていることをご報告いたします。

## 2023年度入試 合格者数

国立大学	現役	過卒	計	公立大学	現役	過卒	計	私立大学	現役	過卒	計
熊本大学	26	5	31	熊本県立大学	24	1	25	熊本学園大学	82		82
鹿児島大学	8	4	12	長崎県立大学	5		5	福岡大学	52	9	61
佐賀大学	8	1	9	下関市立大学	2		2	崇城大学	44	9	53
長崎大学	8		8	神戸市看護大学	1		1	近畿大学	14	26	40
宮崎大学	7	1	8	横浜市立大学	1		1	熊本保健科学大学	35		35
福岡教育大学	6		6	京都市立芸術大学	1		1	西南学院大学	17	3	20
横浜国立大学	2	2	4	山陽小野田市立	1		1	福岡工業大学	11	3	14
広島大学	3		3	山口東京理科大				九州ルーテル学院大学	12		12
九州大学	3		3	名城大学	1		1	龍谷大学	11		11
九州工業大学	2	1	3	広島市立大学		1	1	兵庫大学	10		10
大分大学	2		2	高崎経済大学		1	1	帝京大学	9	1	10
琉球大学	2		2	公立大 総計	36	3	39	東京農業大学	9	1	10
茨城大学	1		1					九州看護福祉大学	9		9
北海道教育大学釧路校	1		1	<b>私立大学</b>	<b>現役</b>	<b>過卒</b>	<b>計</b>	久留米大学	9		9
北海道大学	1		1	早稲田大学	3		3	日本大学	9		9
金沢大学	1		1	慶応義塾大学	3	1	4	京都産業大学	6	3	9
富山大学	1		1	上智大学	1	1	2	武蔵野美術大学	7		7
埼玉大学	1		1	東京理科大学	1	1	2	中村学園大学	5		5
静岡大学	1		1	明治大学	4		4	関西外国語大学	4		4
京都教育大学	1		1	青山学院大学	4		4	九州産業大学	4		4
岡山大学	1		1	立教大学	1		1	尚絅大学	4		4
山口大学	1		1	中央大学	3		3	中京大学	4		4
筑波大学		1	1	法政大学	2	2	4	獨協大学	4		4
国立大 総計	87	15	102	関西大学	2		2	長崎国際大学	4		4
				関西学院大学	4	6	10	明治学院大学	4		4
				同志社大学	7		7	東海大学	3	1	4
				立命館大学	12	5	17	私立大 総計	511	78	589

\*上記大学は、国公立大学、早慶上理、GMARCH、関関同立及び合格者多数大学の順で掲載しております。その他多くの大学・専修学校等に合格されています。詳細をご覧になりたい方は、ぜひ本校ホームページよりご覧ください。

# 3年ぶりの新春大同窓会に220人



220人が出席した新春大同窓会

紫紺会の新春大同窓会が令和5年1月28日、熊本市中央区上通町のホテル日航熊本で開かれました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で3年ぶりの開催となり、県内外からの同窓生や高校の先生方をはじめ、関係者約220人に出席いただきました。はじめに木村会長が「本校の卒業生は社会に出てあらゆる分野で活躍し、世の中に貢献しており、大変うれしく感じている。学校法人熊本学園の建学の精神である師弟同行、自由闊達、全学一家を未来への礎として今後も本会がますます発展するように、皆さま方のご支援をお願いしたい」とあいさつ。細江守紀熊本学園大学長による音頭で乾杯した後、ステージ上で飾馬奉納紫紺会によるPRタイムや当日発足した医療・介護福祉業界関係の同窓生で組織する「医療介護福祉連絡協議会」の紹介などがあり、最後は出席者全員で校歌を斉唱し、閉会しました。

当日はご来場いただいた先生方と久しぶりに再会し、高校時代の思い出話に花を咲かせ、近況を報告しながら活発に交流を深めました。大同窓会の開催に向けて準備を進められた同窓会役員の皆さま、本当にお疲れさまでした。来年も元気でおいでできる日を楽しみにしております。

(広報・情報委員会 大島栄祐)



1・2期生の先輩方



長野英子前紫紺会長(右)に感謝の言葉を述べる木村会長



40期前後の若手同窓生も多数出席した



今年の藤崎八幡宮例大祭に向けた飾馬奉納紫紺会によるPRタイム

# 令和5年度紫紺会総会

いつも紫紺会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今年も年に一度の総会を令和5年6月3日、「ホテル日航熊本」にて無事に開催することができました。本稿において、その概要と結果を報告させていただきます。

総会の会場に足を運んでいただいた皆様、ありがとうございます。今年も様々な世代から多くのOBの皆様に参加いただきました。同日開催の「年祝いの会」の祝賀会では、コロナ感染症が第5類に変更されたこともあり、以前のように盛大に開催することが出来ませんでした。若手から大先輩までが一堂に会し語り合う様子は、まさに紫紺会の象徴であり、私たちが同窓会活動を通じた原動力です。総会当日は各種議案の審議が行われました。それぞれの議案については慎重に議論が交わされ、賛否両論の意見が飛び交いました。しかし、皆様の紫紺会への愛着、そして何より皆様が共有する我々の母校への思いが結集し、すべての議案が滞りなく承認されました。今年も、皆様方の熱意ある議論により、紫紺会の進むべき道が明確にされました。紫紺会がさらなる高みを目指すためには、我々OBが一致団結し、新たな挑戦を続けていくことが求められます。そのためにも、今後ともご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

いま紫紺会があるのは、皆様一人ひとりの献身的な努力と熱意ある支援があったからこそです。私たちは、その伝統を受け継ぎながら、これからの時代に合った活動を続けていく所存です。同窓会とは、単に過去を振り返る場ではなく、未来を見据える場であるべきだと思います。そして、それを創り上げるのは、我々同窓生であり、今後この母校を支えていく皆様方です。

今後とも、紫紺会の活動に対するご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。私たちが共に、この素晴らしい伝統を次の世代へとつないでいきましょう。最後に、この場を借りて、再び総会の開催にご協力いただいた全ての皆様に、深く感謝申し上げます。次回の総会で、また皆様にお会いできることを心より楽しみにしております。

事務局長 奥村 誠基(33期)



各種議案を審議した令和5年度の総会



奥村 誠基 事務局長



木村 光男 会長



志垣 伸太郎 監事



三浦 勲 財務委員長

# 年祝いの会

令和5年度の総会に続きホテル日航熊本で開かれた年祝いの会の報告をさせていただきます。

当日は幅広い年代の同窓生や学校関係者の方々をはじめ128人が出席し、新型コロナウイルスの5類感染症への移行に伴い盛大な会となりました。木村光男会長、高橋裕文校長のあいさつに続き、学校法人熊本学園の目黒純一理事長による音頭で乾杯。その後は本会に出席された今年で傘寿(2期・1人)、喜寿(5期・12人)、古希(12期・19人)、還暦(21期・16人)を迎えられる同窓生の方々がステージで、これまでの人生を振り返りながら今の心境や今後の抱負、目標などを話されました。当日は40期以降の若手同窓生にも出席いただき、会場各所では世代を超えて交流を深め合う同窓生の姿が見られ、最後は出席者全員で記念撮影し、会は幕を閉じました。この度節目の年を迎えられた同窓生の皆さま、これからも健康に留意され、各界でますます活躍されることをお祈り致します。この度は誠にありがとうございました。これからも紫紺会活動に色々とお祈りいただければ幸いです。

最後にこの場を借りて、本会にご協力いただきました皆さまに心から感謝申し上げます。来年も元氣な姿でお会いできることを心待ちにしております。

広報・情報委員会副委員長 宮崎 常(39期)



同窓生ら128人が出席した年祝いの会。最後に出席者で記念撮影を行った



浅野 芳幸 事業活動委員長



高橋 裕文 学校長



目黒 純一 理事長



木村 光男 会長



喜寿の5期同窓生



傘寿を迎えた2期の新井保彦さん



還暦の21期同窓生



古希の12期同窓生

# 令和5年度 紫紺会役員

委員会等	役職	氏名	期
会長		木村 光男	16期
副会長		吉村 浩之	19期
		寺本 光秀	22期
		三浦 勲	23期
		古閑 知子	26期
		内藤 千穂	29期
	事務局	事務局長	奥村 誠基
事務局次長		内藤 千穂	29期
〃		河岸 義彦	30期
〃		村田 護親	32期
〃		檜橋 一玄	34期
〃		中村由紀子	34期
参与		村上 康彦	15期
監事		平木 邦昭	14期
		馬原 隆	17期
		志垣伸太郎	30期
代表幹事会	代表幹事長	浦上 和裕	16期
	副代表幹事長	石本 敏明	9期
	〃	藤木 勝幸	16期
	〃	田上 明裕	29期
	〃	檜橋 一玄	34期
	〃	眞弓 知也	48期
財務委員会	委員長	三浦 勲	23期
	副委員長	永松 豊	16期
	委員	白石 隆	24期
	〃	出先 教明	31期
	〃	高濱 知佳	32期
	〃	佐藤マリア	37期
	参与	馬原 隆	17期
広報・情報委員会	委員長	宮村勇一郎	23期
	副委員長	原田 佳英	35期
	〃	宮崎 常	39期
	〃	大島 栄祐	40期
	委員	志水 和幸	18期
	〃	西本 弘美	40期
	〃	山中 翔太	45期
	〃	山本 文子	47期
	参与	佐伯 昇治	13期

委員会等	役職	氏名	期
事業活動委員会	委員長	浅野 芳幸	33期
	副委員長	村上 雄一	33期
	〃	西牟田耕太郎	37期
	参与	桑原幸津江	25期
経済同友会	委員長	寺本 光秀	22期
	副委員長	西上 佳孝	25期
青年部委員会	委員長	嶋村拓二郎	41期
	副委員長	榎 崇文	40期
	〃	塚本 龍一	47期
	委員	道山 明香	42期
	〃	井上 慶一	46期
	〃	富田 修成	46期
	〃	永廣 一晃	39期
	〃	内田 雄也	37期
飾馬奉納実行委員会	委員長	渡邊 憲輔	39期
	副委員長	嶋村拓二郎	41期
顧問		目黒 純一	
校長		高橋 裕文	
相談役		長野 英子	15期
名誉理事		奥村 拓司	1期
		大堂友一郎	1期
		内原 中	1期
		貝島 博信	1期
		黒木 繁紀	2期
		式森 耕吉	4期
		原武 博之	5期
		竹本 朝生	6期
		武末 博司	7期
		木下 顕	11期
		榎 主税	14期

## 紫紺会 代表幹事一覧

期	卒業年	名前									
1	S37	立川 恵之助	17	S53	山下 慶一郎	33	H6	池本 千寿	49	H22	高橋 直人
2	S38	今村 宏	18	S54	志水 和幸	34	H7	植田 真功	50	H23	上坂 萌子
3	S39	井手 和洋	19	S55	伊津野 浩	35	H8	千々岩 慎吾	51	H24	中野 翔梧
4	S40	坂元 邦彦	20	S56	崎坂 浩行	36	H9	佐藤 健次	52	H25	上坂 暖子
5	S41	中園 直樹	21	S57	中山 貴夫	37	H10	内田 雄也	53	H26	小野 晃嗣
6	S42	白野 国久	22	S58	寺本 光秀	38	H11	山口 敦司	54	H27	引継ぎ中
7	S43	武末 博司	23	S59	川口 修	39	H12	永廣 一晃	55	H28	宮崎 真吾
8	S44	和田 信一	24	S60	白石 隆	40	H13	久富 信夫	56	H29	井田 彩心
9	S45	上野 和徳	25	S61	西上 佳孝	41	H14	渡邊 陽一	57	H30	今村 拓詩
10	S46	本田 順治	26	S62	相馬 啓	42	H15	豊田 隆志	58	H31	土井 淳一朗
11	S47	伊瀬知 裕	27	S63	鈴木 浩二	43	H16	矢田 琢磨	59	R2	出口 貫太
12	S48	臼杵 和孝	28	H1	水田 貴光	44	H17	井手 誉大	60	R3	小堀田 圭吾
13	S49	上妻 利夫	29	H2	田上 明裕	45	H18	松下 翔	61	R4	高野 蓮
14	S50	宮本 亘	30	H3	廣末 好信	46	H19	井上 慶一	62	R5	濱田 奈々子
15	S51	吉田 敏郎	31	H4	出先 教明	47	H20	塚本 龍一			
16	S52	藤木 勝幸	32	H5	堤 泰之	48	H21	眞弓 知也			

# 委員会・支部年間活動報告

## ●事務局

事務局長 奥村誠基(33期)

昨年の紫紺会の活動を振り返り、大同窓会や年祝いの会など、コロナ禍以降では初めて多くの同窓生の皆さんと交流の場を持つことができたことを心より感謝申し上げます。事務局長として2年間の任期を経て、あと1年となりましたが、これまでよりもさらに充実した活動にすべく努めて参ります。今年も皆様が紫紺会に誇りを持ち、楽しんでいただけるよう、役員一同、精一杯努力いたします。今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

## ●代表幹事会

代表幹事長 浦上和裕(16期)

令和4年度は、各期の代表幹事にお集まりいただき、令和4年5月18日・9月14日・1月9日・令和5年1月11日の日程で、審議・協議、確認事項等の会議を4回行いました。

1月28日の新春大同窓会では、コロナ禍での開催で、参加者の事前確定が必要となり、各期の代表幹事様には、チケットの販売管理、出席者の確定、名簿の提出、当日の

受付、集金等、例年以上のご足労をおかけいたしました。久しぶりの新春大同窓会は大盛況でした。6月3日に開催した年祝いの会および総会では前日に新型コロナウイルスを発症してしまい、大変ご迷惑をお掛けいたしました。

私は、木村会長からの任命で代表幹事長を拝命しましたが、大同窓会には数回参加した程度で、紫紺会役員としての活動は初めてでした。この様な私ですが、役員経験のある方や沢山の同窓生の方々、各学年の代表幹事の方々にご指導とご協力をいただき、今期の代表幹事会の活動を執行うことができました。

## ●財務委員会

委員長 三浦 勲(23期)

終身会費導入2年目となった2022年度は97名の会員から終身会費97万円を納入いただき、その他年会費収入、入会金収入など併せて99.1万円余の収入、会報発行郵送代、卒業記念品費、事務局費など支出が89.6万円余、収支差額が95万円余でした。終身会費と会費収入の見込みが計り辛くなっている傾向があります。また業務効率化のためネットバンキングを稼働

し、円滑な業務を進めています。

## ●広報・情報委員会

委員長 宮村勇一郎(23期)

広報・情報委員会は、本会の全同窓生に向けて発行する会報誌の作成とホームページやFacebookの更新を主な活動としています。また、会長が参加される会務の取材や、本会が行う事業の記事制作、写真撮影等も行っています。

本年度の委員会活動は、コロナ禍による活動自粛が緩和されたことで、徐々にではありますが、活発化してきました。会報誌については、委員会メンバーで話し合い作成しましたが、まだまだ満足できる誌面には至っておりません。今後は、更に皆さまに楽しんでいただける内容を第一に、との思いで、作成して参ります。

最後になりましたが、今年度の会報誌発行にあたり、多くの皆さまにご協力いただきまして、この場をお借りし、心からお礼申し上げます。

## ●事業活動委員会

委員長 浅野芳幸(33期)

異例の3年目となりましたが、そのお陰でより運営に関して精度を上げることができ、一年となりました。委員会メンバーは少ないですが、委

員会メンバーのみならず多くの会員のご協力のおかげで、年の祝いと大同窓会を無事に開催することが出来ました。心より御礼申し上げます。総会のタイミングが変更となった関係で、さらに1回ずつ年の祝いと大同窓会を担当させて頂くこととなりました。新型コロナウイルスの影響も少なくなつた今、それ以前の状況まで参加者数を戻すことと、より会員が参加したいと思える事業を構築していきたいと思えます。まずはこの1年間本当にありがとうございます。この場を借りて御礼申し上げます。来年度の事業活動委員会の活動にもご期待ください。

## ●青年部委員会

委員長 嶋村拓二郎(41期)

紫紺会青年部は、若手を中心とした委員会です。2022年度は、3月にゴルフコンペを開催しましたが、当日は雨と雷の影響で中止せざるを得ない判断を強いられました。

今年は新型コロナウイルスが5類に移行されましたので、青年部の活動を再開させ、紫紺会を盛り上げていければと考えています。コロナ以前に開催していた若手交流会なども検討しています。2023年度も状況を見ながら

の企画立案となりますが、親睦を深める会を開催したいと考えています。若手の集客に力を注ぎ、今後における紫紺会の発展に努めていきます。

## ●飾馬奉納委員会

実行委員長 渡邊 憲輔(39期)

飾馬奉納紫紺会の実行委員長は39期渡邊です。まずは藤崎八幡宮秋季例大祭の奉納において関係者の方々に多大なるご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。おかげさまで9月15日の飾卸から9月17日本祭まで、事故もなく無事に奉納することができました。

飾馬奉納紫紺会は、本祭に向け1年通して活動します。担当期は新年早々から同窓会などで声をかけ始め、少しずつ集まり始める同級生と春を迎えます。また、気づくと集まり始める各期の同窓生たち。年々暑さを増す夏の時期



には準備も佳境を迎え、楽団も口取も練習に熱を帯びています。施設を回る慰問では、毎年楽しみにしてくる方々を前に音を鳴らし馬を引き、観客から拍手や声をいただくことで、本祭までのもうひと踏ん張りの力をもらいながら今年も当日を迎えることができました。大人になっても同窓生と同じ目標に向かって同じ時間を過ごすことで生まれる絆。この大切さや温かさをもつと多くの同窓生に伝えていきたい。来年も同窓生の皆様が熊本を盛り上げる力に、そして同窓生が紫紺会で絆を深めていくことができるよう全力で運営していく所存です。

## ●経済同友会

委員長 寺本光秀(22期)

令和5年度は、コロナ禍で縮小していた活動を少しずつ正常化していく予定です。

総会・年祝いは、7月8日に、松屋本館(25期・西上佳孝会員)で開催しました。年祝い会では、傘寿(猿渡政先生)、喜寿(5期)、還暦(21期)、厄晴れ(40期)の会員のお祝いをしました。当日は在校生の隠れた善行を讃える奨励賞についても授与式を行い、熊本県ユニセフ協会設立30周年記念講演会・シンポジウムの準備に携わった3

名の生徒に授与しました。

五校経済同友会については、今年度は当会が幹事校となっており、11月11日(土)にKKRホテル熊本にて、合同例会・講演会を開催予定です。当校40期生で、水球男子日本代表(ポセイドンジャパン)の監督を務めている塩田義法さんにご講演をいただく予定です。

(文責 中村由紀子)

## ●県庁紫紺会 第2回 総会・懇親会

令和5年6月23日(金)、熊本市中心区水前寺の松屋本館で、令和5年度の総会・懇親会が開催され、紫紺会からは木村会長が他の会合と重なったため、代役で代表幹事長の浦上が参加しました。

平成19年以降は休止状態だった県庁紫紺会を、現菊陽町副町長の小牧裕明氏(20期)ほか有志の方々が集まり、昨年再発足され、今回が新生後2回目になります。当日は副会長の浦田隆治氏(21期)による挨拶で開会し、衆議院議員の坂本哲志氏(8期)・母校副校長の市川裕樹氏(21期)ほか、3名の方から来賓祝辞を頂きました。

その後は議事に入り、総会で新役員の選出が行われ、



浦田氏が会長に、内田清之氏(22期)・久保礼子氏(23期)・白石隆氏(24期)が副会長に、幹事長、事務局局長、事務局次長、会計監査の各役員も満場一致で選任されました。

浦田新会長は挨拶の中で、「県庁紫紺会の会員は、県庁の要職に就かれています方も多く、様々な部署で活躍されています。紫紺会での出会いやつながりを、それぞれの仕事に活かしていきましょう」と語られ、今後の県庁紫紺会の活動を担う決意を示されました。

総会の議事がスムーズに終了した後は前会長の小牧氏による乾杯の音頭で懇親会が始まり、来賓・役員・年齢・役職等の境を超えて、参加者全員で楽しい時間を共有できました。昨年の設立総

会に比べると参加者は若干少なかったようですが、50期代以降の若い方の参加が目立ったように思いました。

最後になりましたが、役員の方々と、県庁紫紺会の再開、継続について、様々な話をさせていただきました。今後も県庁紫紺会の皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

代表幹事長

浦上 和裕(16期)

## ●東京紫紺会 東京紫紺会総会・懇親会

令和5年3月4日(土)、東京都千代田区の都市センターホテル「アイリス」で東京紫紺会総会及び懇親会が開催され、60名の卒業生が参加しました。

コロナの影響により、4年ぶりの開催となった式では、今年度から新しく選出された会長紹介もあり、活発に親交を深められていました。会長挨拶では「若い人たちへ向け



## 第62期生紫紺会入会式

令和5年3月2日、本校多目的ホールで紫紺会62期生の入会式が執り行われました。例年であれば、卒業式前の予行演習に合わせ体育館で開催されてきましたが、本年もコロナ禍の中の実施となり、Zoomを使用した会式となりました。授与式会場には当日学校から表彰状を代表で受ける生徒30人が待機し、その映像を各教室へ配信する方法で執り行われました。まずは、生徒たちへの各種表彰式が行われ、その後入会式となりました。式では木村会長が「3月3日に卒業を迎えられることを心からお祝い申し上げます。入会後には有意義な活動ができるよう本会としても尽力

し、そして共に会の発展のために力を合わせ、頑張ってください」とあいさつ。委嘱状授与式では、代表幹事を務められる濱田菜々子さんと副代表幹事を務められる浦田毘向大さんに登壇いただき、会長から委嘱状が渡され、クラス幹事の皆さま22人には各クラスで担任の先生からお渡しいただきました。

コロナ禍また受験、卒業、入学、新年度と大変お忙しい中、このような紫紺会入会式にご尽力をいただきました学校ならびに先生方からの感謝を申し上げます。

広報・情報委員長

宮村勇一郎(23期)



代表幹事の濱田菜々子さん



副代表幹事の浦田毘向大さん

※新会長  
本田 光二(18期)  
※東京紫紺会連絡先 担当者  
幹事長  
坂田 剛(23期)  
連絡先  
go-saka.007@ezweb.ne.jp

## 60期生成人同窓会

令和5年1月3日、熊本市の熊本ホテルキャッスルで60期生が集う成人同窓会が開かれました。

当日は、幹事を務める清藤洗翔さん、内山菜月さんによる司会進行で、コロナ禍ではあったものの、全国から150名程が集い、盛会に催されました。開式では、木村会長が本会を代表され成人を迎えられる皆さんへ、お祝いの言葉が伝えられました。開式後はテーブル近くでの談話が多く見受けられました。会の中頃には懇親も進み、友人同士、部活の旧友同



志それぞれに集い写真を取り合うなど、さらに深まっています。会の終盤には、幹事の皆さんで作成されたビデオメッセージが会場スクリーンに映し出され、当時学

年主任を務められた、豊田先生から成人を迎える皆さんへの挨拶、そして1組から11組までの各担任の先生から個性あふれる、心温まるメッセージが送られる度に、会場内は歓声に包まれました。閉式では、内山幹事仕切りのもと一本締めを全員で行い、集合写真を撮影し、皆さん無事に散会されました。本会からは成人同窓会支援事業として木村会長から5万円を贈呈させていただきました。

広報・情報委員長  
宮村勇一郎（23期）

### 感謝を込めて

同窓会で幹事を務めさせていただきました。清藤洗翔です。

先日はお忙しい中、熊本学園大学付属高校の同窓会にお集まりいただき、誠にありがとうございました。卒業以来2年ぶりの皆様との再会は短い間でしたが、高校生の頃に帰ったよつで、暖かい気持ちになりました。今年私達は20歳となり、大人の仲間入りをしました。これからきつと楽しいことや嬉しいこと、幸せなことがたくさんあるでしょう。しかし、辛いことや苦しいこともまた、起ると思えます。社会の荒波に揉まれ、身動きが取れなくなることもあるかもしれません。そんな時に学付で過ごした日々と楽しかった思い出は、きつと私たちを支えてくれます。臆せず、みんなで精一杯楽しんでいきましょう。

## 熊本県高校同窓会連絡協議会定例会開催について

令和4年11月18日、熊本市の熊本ホテルキャッスルで熊本県高校同窓会連絡協議会定例会が開催されました。本会は平成26年に大西一史氏が熊本市長に初当選さ



れたことを祝福する意味を含め、熊本市内の高等学校同窓会が一堂に集い、会を開催することから始まった協議会です。現在では熊本県内に参加校を集い、全28校となっています。当日はこの度菊陽町長に初当選された吉本孝寿氏も参加され、総勢53名で催されました。

会の進行は、令和3年度の事業報告と決算報告の後に主催者挨拶、大西熊本市長、吉本菊陽町長挨拶と続き、情報交換会に移りました。情報交換会では、各同窓会での会員確保や会費納入といった活動状況やスポーツ関係のことが話題に上り、スポーツではヤクルトの村上選手活躍もあってか、球場不足問題が多く話されています。

紫紺会60期幹事 清藤 洗翔

## 令和5年度全国高等学校総合体育大会・総合文化祭及び全国大会出場選手激励会

令和5年7月5日、熊本市のKKRホテル熊本で、令和5年度全国高等学校総合体育大会・総合文化祭及び全国大会出場選手を激励する会が開かれました。

当日は、高橋学校長をはじめ部活動顧問の先生方、保護者で組織する学校部活動振興会の方、そして出場する学生選手（男子ボート部、女子ボート部、女子テニス部、男子体操部、女子体操部、新体操、少林寺拳法、囲碁部、放送部、百人一首同好会）とその保護者の方、

総勢106名で盛会に開催されました。

開式では、本会の木村会長から、全国大会へ出場される選手の皆さんに向け、「これまで練習に励んでこられた努力への称賛の言葉と、これまで支えてくださった学校教職員の方々に、そして保護者の皆さん方への感謝と労いの言葉」を送られ、乾杯の音頭を取られました。その後、本会の浦上代表幹事長から出場選手代表者に紫紺会部活動奨励金10万円が贈呈されました。

広報・情報委員長  
宮村勇一郎（23期）

途中、本会に急速挨拶指名が行われた際には、木村会長が本校の進学状況を説明され、同窓会が学校と一体となって、学生たちの更なる高みへとつながる進学に向けて努めている旨が話されました。

広報・情報委員長  
宮村勇一郎（23期）



# 現役生部活動報告

## 深学化プログラム reclothes

reclothesは活動2年目を迎える廃棄される衣料をポリエステル媒地という土の代わりになるものに加工し、その媒地を用いて、「環境問題への啓発」と「花育」をテーマとした活動を行っています。敬愛幼稚園の園児や熊本トヨタ自動車のイベントで種まき体験のワークショップを行い、子ども達やその保護者に対して一人でも多くの方が衣類の大量廃棄問題だけでなく、様々な環境問題に関心を持ってもらいたいと願って活動しています。また花育を通して、優しさや美しさを感じる気持ちを育ててもらいたいと考えています。最近では活動をテレビで取り上げてもらったりと私たちの活動が少しずつ認知されてきています。今後はさらに育てた花の活用についても考えていこうと思っています。



## 深学化プログラム Next Nexus

Next Nexusは活動3年目を迎えるフードロス削減に向けて活動するグループです。廃棄される食材を加工して商品化したものを販売し、その際購入者に対して食品ロスの啓発を行ったり、売り上げを熊本県や熊本市に募金することで地域貢献を行っています。

6月には株式会社木村様と乳菓子屋様のそれぞれの会社と共同開発した5種類の商品を上通りで販売しました。今年はアレルゲンフリーの食材を使った商品開発をテーマにし、共感していただける企業を探して商品開発を行いました。この活動を通じて、一つの商品を作る際にも様々な方が関わっていること、それぞれの企業がSDGsについて様々な取り組みを行っていること、生産者様の思いを考えるなど、良い体験をすることができました。私たちの活動が、多くの人に食品を大切にする意識を持ってもらうきっかけになってくれればと思います。



## ボート部 女子

私たちは「日本一」にふさわしいチーム・選手になれるよう努力を重ねています。昨年度は国体4位入賞、全国選抜3位入賞、そして今年度は朝日レガッタ2連覇をはじめ、数多くの大会で活躍することができています。支えて下さる多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、これからもたくさんの感動や勇気、笑顔を届けられるよう、新たな高みを目指し成長していきたいと思っています。



## ボート部 男子

私たちは「日本一」を目指し、日々、江津湖で頑張っています。昨年度は国体優勝や全国選抜3位など、全国の舞台で活躍することができました。今後も「超一流をめざせ」のスローガンのもと、文武両道、生徒主体の自由度の高い練習を実践し、「熊学」の名を全国に轟かせたいと思います。応援よろしくお祈りします。



## 女子硬式テニス部

私たち女子硬式テニス部は、6月の県高校総体で団体戦7連覇、個人複、さらには個人単も優勝と、これ以上ない成果をあげることができました。そのことももちろん素晴らしい達成でしたが、今年の総体は3年ぶりに「声出し応援」が可となったこともあり、部員はお互いのプレーに大きな声援を送りながら互いに頑張ることができたことが一番の思い出となりました!



## 体操部

今年の県高校総体では、27年ぶりとなる男女団体アベック優勝を果たし、揃って北海道インターハイへの出場を決めました。一方、県中学総体でも男子団体で3連覇を達成。競技人口が減少傾向にある中、中高ともに熊本の体操界を担う存在として研鑽を積んでいます。これも偏に、紫紺会をはじめとする皆様からのご支援があってこそその成果と感謝しております。今後も応援のほどをお願いします。(写真は県中学総体優勝メンバー)



## 百人一首同好会

百人一首同好会は主に高校・中学の和室などで活動しています。「総文優勝と昇段」そして「基礎徹底」を目標に日々練習に取り組んでいます。部員のほとんどは未経験者ですが、和気藹々と熱心に練習に取り組んでいます。今年の総文は創部以来初の準優勝を果たすまであと少しと悔しい思いをしましたので、来年こそは優勝できるように頑張ります。今後とも応援よろしくお祈りします。



## 吹奏楽部

吹奏楽部は部訓「Share the Music」を掲げ、日々の練習に励んでいます。定期演奏会をはじめ、学校行事、地域での演奏など、多くの演奏の機会に恵まれ、仲間と音楽を創り上げていくことに喜びを感じています。また、夏の吹奏楽コンクールでは、昨年に引き続き九州大会出場を果たすことができました。これからも「学付サウンド」をさらに磨いていきますので、応援よろしくお祈りします。



## 少林寺拳法

少林寺拳法は部活動がないので、個人で道場に通って練習を行っています。今年の県高校総体では、女子単独演武で2位を受賞し、インターハイへの出場権を獲得することができました。惜しくも予選敗退という結果になってしまいましたが、来年の高校総体に向けて練習に励みたいと思っています。興味のある方はぜひ私に話しかけてください。少林寺拳法の魅力をお伝えしたいと思います。



## 水泳部

私たち水泳部は、「文武両道」「楽しく取り組む」をモットーに活動しています。初心者から経験者までさまざまな部員が在籍しており、互いに尊重し合いながらアットホームな雰囲気の中で練習に励んでいます。このような水泳部を築き上げてこられた歴代の先輩方、いつも支えて下さる先生方や保護者に感謝しながら一杯頑張っています!今年度も昨年度に続き、個人3種目・リレー2種目で九州大会出場を果たすことができました。今後とも応援をよろしくお祈り致します。



## 新体操

私は、みどり新体操クラブという学外のチームで活動しています。1年生の時からインターハイ出場を目標としており、達成することができてとてもうれしいです。新体操を始めてからの12年間は、苦しいことが多かったのですが、周りの方が支えて下さいました。最後の大舞台で、今までの恩返しと、感謝が伝わる演技ができるよう、1日を大事に頑張っています。



## 放送部

放送部の活動は主に発声練習、アナウンス、朗読、番組制作です。また、お昼の放送、下校時刻の放送もしています。学校内では、マイクや音響機器、記録を担当し、実況や音楽で紫雲祭を盛り上げ、配信や記録で紫雲祭に貢献しました。コロナ禍でオンラインの活用が増え、年々技術も向上しています。学校外では、テレビやラジオ番組に出演するだけでなく、制作に携わる、イベントの司会をするなど様々です。SOSEKIチャレンジングアワードの高校生コメンテーターとして出演、熊本学園80周年式典の司会、県総文祭開会式の総合司会を担当しました。大会ではNHK杯全国放送コンテスト県大会においてアナウンス部門1、2位受賞、朗読部門入賞。全国総文祭ではアナウンス部門に出演。応援よろしくお願いします。



## サイエンス部

私達サイエンス部は、身の回りの自然現象に目を向け、疑問や興味を持ったことの探究活動を行っています。昨年は熊本大学で行われたICAST(先端科学技術国際学生会議)に参加し、英語で発表や議論を行いベストプレゼンテーションアワードを獲得することができました。先日は熊本県水産研究センターの協力を得て、有明海や八代海でアサリを食害しているというナルトビエイの消化管内の調査などを行いました。自分の興味や社会課題の解決に向けた探究活動に取り組んでいきますので、応援よろしくお願いします。



## 囲碁部

囲碁部では、男子6人女子3人の計9人で、毎週月曜日と水曜日に囲碁を打っています。初心者で参加をしてくれる生徒も多く、ルールや序盤の定石、戦法など様々なことを教えてもらいながら、それぞれが基礎に向かい研鑽を重ねています。5月に開催された第47回熊本県高等学校総合文化祭囲碁大会では女子個人の部で優勝、また、6月に開催された第47回文部科学大臣杯全国高校囲碁専門選手権大会熊本県大会では、女子個人の部で優勝、男子団体の部で準優勝という成績を残すことができました。この結果、女子個人の部において、2つの全国大会出場を決めました。今後の目標としては、男子・女子それぞれ団体の部での全国大会出場を掲げ、これからも努力を続けていきたいと思っております。応援のほど、どうぞよろしくお願いします。



## 男子バスケットボール部



私たち男子バスケットボール部は熊本県ベスト8・県リーグ2部昇格を目標に活動しています。少ない練習時間の中でも「コミュニケーション」「向上心」「徹底」を意識して日々精進しています。また、学校、保護者、応援して下さいの方々のおかげで、バスケットボールへ取り組めることに感謝して、頑張っています。今後とも応援よろしくお願いします。

## 未来応援基金について

### <趣旨>

勉学において必要な機材・資材購入や部活動支援をはじめ、留学を検討している学生など未来へはばたく在校生に対するサポートの一助として、紫紺会会員に広く寄付を募る。

### <内容>

会報誌「紫紺」に同封する振込用紙をお使い下さい。寄付金額は一口¥5,000です。活用方法については学校側と協議して決定し、活用結果を会報誌にて報告いたします。在校生に未来を応援する温かいサポートをお待ちしております。

**未来応援基金 寄付者一覧** (1期) 奥村拓司、寺島 建、五島勇一、森川崇照、万谷敏直、金光正昭 (2期) 井上吉弘、中原紘嗣、辻幸雄 (3期) 宮本 茂、轟 淳一、村田誠一、門岡健一、吉野光正、古木勝行、諫山幹生 (4期) 古澤和夫、上林節郎、大嶺 峻、岩崎憲一、水野繁之、三ツ井武治、森崎 公 (5期) 菊池和夫、渡辺和文、金澤省三、時任正人、長野 稔、岩下直昭、歳嶋廣久、宮島克宣 (6期) 梨子木和秀、砂岡憲喜、島田万里、片岡正憲、吉本寛治 (7期) 下津高志、小嶋維男、稲葉伸一郎、中村保明、武末博司、河部五豪、中村倫博 (8期) 妻木邦博、木村 裕、山本 堅 (9期) 堺 亜流、宮竹聖彦、亀井伸生、渡辺 徹、宮本和博、徳永幸三、濱本正明、田中 淳 (10期) 吉松淳次、山本徳光、杉島龍市、斉藤司郎、徳田章三、佐藤雅保、村上 積 (11期) 三笠 宏、児玉聖也、志賀三吉行、緒方公博 (12期) 後藤健吾 (13期) 中村光春、奥田俊一、木林哲郎 (14期) 西村秀夫、山辺二郎、津埜高則、中原利博、上田一富、倉元 隆 (15期) 南 明、松田博女、甲斐理明、笹路久美子、下田朱江子、前田記代子、米村福美、山本宣房、長野英子、村上康彦 (16期) 毛利 洋、永松 豊、森松鉄雄、河津和芳 (17期) 前田 忍、松延 誠、野上 武 (18期) 森 淳一、岩根修一、竹田浩治、奥田章子、竹田浩治、中山ゆかり (19期) 吉村浩之、内尾公生、園田敏則、小田勝也、三原大典、田中博康、二子石和浩、森田靖也、下村誠次郎、上坂尚子 (20期) 田上博文、草野好美、福井智子 (21期) 吉富 昭、大竹秀幸、淵上光秋、富永直子、藤川昭嗣、吉岡和則、中山貴夫 (22期) 寺本光秀、桃崎剛寿 (23期) 新井康夫、栗林京子 (24期) 末富仁美、西岡ゆかり (25期) 竹下精一、中村亮彦、宮村宣明 (26期) 東 修 (28期) 井上賢二 (29期) 渡邊一広 (30期) 八木俊晃、大坪功明、武田雄二 (32期) 白石智也、荒井茂夫、右田憲寛、大賀盛博 (33期) 竹熊隆宏 (34期) 石原裕士、赤塚智哉、坂口 歩 (35期) 上村博美 (36期) 木村賢正、山室 絢 (37期) 中間健太郎、西牟田耕太郎 (38期) 中道麻衣子 (39期) 宮崎 常、福田五十六、北里大祐 (40期) 村田祐一、櫻 崇文 (42期) 松尾可奈子 (43期) 中野隆志 (45期) 津村伸行、堀端昭博、福本裕樹 (46期) 加藤丈士 (59期) 藤森育太郎 (60期) 村田和泉、酒井清士郎、高野はな、力久姫芽 (61期) 永田莉恵、徳丸航大、岩上朔也、大倉靖萌、牛崎琳太郎、福村美玖

# 紫紺ズームアップ

## ～各界で活躍する

## 同窓生たち!!～

zoom  
up

### オリンピックの舞台で

### 感謝の気持ちを伝えたい

水球男子日本代表監督 塩田 義法（40期）



第40期卒業生の塩田義法です。現在は、日本体育大学水泳部水球女子ブロックの監督を務めるとともに、水球男子日本代表チームの監督も務めさせていただいています。2021年東京オリンピックは、アシスタントコーチとして参加しましたが、史上初のベスト8進出とはなりませんでした。東京オリンピック後に代表監督に就任し、オリンピックや世界選手権で、ベスト8入りするという目標に向かって日々頑張っております。ただ勝つことだけではなく、プレーの美しさやフェアプレー精神を大切に、選手たちが持つ個々の能力を最大限に引き出せるような監督になりたいと思います。

私が水球を始めるきっかけとなったのは、高校2年生の時に開催された「くまもと未来国体」でした。約40年ぶりに熊本で開催される国体に向けて県選抜チームが、選手発掘をしていたところ、中学時代にバスケットボールや競泳の経験があった私に声がかかりました。高校に入り本格的に水球を始めましたが、泳ぎの能力と球技の経験があったため、水球という競技にはすぐに順応することができました。高校1年生の時には県の選抜選手に選ばれ、翌年に開催される熊本国体に向けて日々の練習に励んでいました。1日に1万メートル以上も泳ぐスイム練習や終わりの見えないうい攻防練習。苦しい辛い練習もありましたがそれを乗り越えられたのは、同じ志を持った仲間がいたこと、学園大付属高校の同級生や先生、保護者の皆様の応援があったからです。熊本県選抜チームということもあり熊本高校や済々黉、第二、東海第二、国府などの選手たちとの出会いも貴重でした。選手たちはもちろん保護者やマネージャー、監督、コーチなどたくさんの方が、学校の垣根を超えて地元国体に向けて一致団結し応援してくれました。試合ではゴールが決まる度に割れんばかりの歓声上がり、勝利

1999年開催の「くまもと未来国体」に出場した熊本県選抜チーム。前列左から3人目が塩田さん



するとみんなが涙を流して喜びました。その結果、熊本県選抜チームは28年ぶりに国体で3位入賞を果たすことができました。この時の大きな声援や会場が歓喜に沸き情景は今でも鮮明に脳裏に焼き付いています。先日、熊本で日本代表監督の就任祝賀会並びに第19回アジア競技大会壮行会を水球関係者の方たちを中心に開催していただきました。本会には、紫紺会からも幅広い年齢層の方々においでいただき、祝福の言葉と応援メッセージをいただきました。高校卒業して20年以上も経つにもかかわらず、学園大付属高校の同窓

生に応援していただけることに心より感謝しています。これからも私は、水球への情熱を持ちながら、選手たちと共に水球男子日本代表の更なる発展と成長に尽力してまいります。水球の原点となった高校時代の仲間や同窓生たちとの絆も、私の人生における貴重な宝として大切にしています。ぜひともこれからの活動を温かく見守っていただければ幸いです。オリンピックの舞台で、日本代表の試合を通じて、皆さまに感謝の気持ちを伝えたいと思っております。



水球関係者が集まり、令和5年8月29日に熊本市内のホテルで開かれた日本代表監督の就任祝賀会並びに第19回アジア競技大会壮行会。後列左から4人目が塩田さん

## バドミントン、

### 健康づくりへ生涯現役で

世界シニア大会3位 歳嶋 廣久（5期）



第5期卒業生の歳嶋廣久です。2023年9月に韓国で開かれたバドミントンの「ワールドシニアチャンピオンシップ」で世界3位の銅メダルを獲得しました。

バドミントンを始めたのは高校1年生の時、父親や高校バドミントン部の初代顧問をされていた本郷節生先生からの勧めがきっかけでした。高校時代は学校から立田山までのランニング（通称・立ラン）でウォーミングアップをした後、高校の隣にあった熊本商科大学（商大）の体育館などでほぼ毎日練習に励み、3年生の春には九州大会の個人戦で優勝。商大進学後は3年時に佐賀県で開かれた「九州インカレ」（学生選手権）のシングルスで優勝しました。熊本の本会社に就職した頃は

23〜25歳まで国体選手で3回出場しましたが、それから15年間はバドミントンから離れていました。40歳の時、長男が小4でバドミントン部に入部したのを機に再開。それ以降は仕事の合間に練習を続け、40代では県民体育祭、50代以降は県社会人大会に毎年参加し、トーナメント戦である県大会では、ほぼ毎年優勝しています。60歳以降は年1回の県大会に加え、全九州社会人大会、全日本および世界シニアバドミントン選手権大会に出場し、全日本シニアでは65歳と70歳の時に優勝。70歳と71歳ではシングルスとダブルスの2冠を達成しました。世界各国から約3千人の選手が集まる世界シニア（70〜74歳の部）には日本シニア代表として出場しています。2019年のポーランド大会ではミックス（男女混合）で銀メダル、今年9月の韓国大会では銅メダルを獲得しました。世界での目標はもちろん金メダルです。そういった大会が目の前にあること、そして自分自身における健康づくりの一環であることがバドミントンを続ける上でのモチベーションになっていますし、頑

張った結果として各大会での優勝が付いてくると思っています。定年後は時間に余裕が出てきましたので、最近でも自宅近くにある小中学校の体育館などで日々のトレーニングや練習を続けています。年齢を重ねても筋肉は使えば使うほどたまる、まさに「筋肉は貯金」だと感じています。趣味やライフワークとして続けてきたバドミントンの魅力は、サーブやラリーにおける相手との駆け引きだと思っています。体力勝負のため勝った時の喜びが大きいことも魅力的で、頑張った分だけ結果が付いてきますので、バドミントンは「努力は嘘をつかない」ということを教えてくれました。これからも生涯現役で続けていきたいですね。



2023年9月に韓国で開かれた世界シニア大会で銅メダルを獲得した歳嶋さん（前列左）

## 退職教員からのメッセージ

### 付属高校の思い出

新海 正幸



紫紺会の皆様、お元気でお暮らしですか。今回、高橋校長から、突然、会報誌への投稿依頼がありました。

教職員時代の思い出や現況などについての事を、今年の春で71歳になりましたが、いまだに大好きな付属高校で英語の非常勤講師として働かせていただいています。現場もコロナ以降、リモート授業が入ってきたり、電子黒板を使ってパソコンから映像をスクリーンに映したりして授業形態も変わりました。チョークではなくタッチペンを使うので、指がかさついたりすることはなくなりました。元来、IT機器などは最も苦手な分野なので、操作等で授業中パニックになり、生徒に尋ねたり、他の先生の助けを求めたりしています。昔に比べると生徒も（他の学校の生徒も同じだと思います）おとなしくなりました。

思うにこの学校で50年近く教壇に立てていられるのは、生徒や保護者、周りの先生たちのおかげだと感謝しています。ありがとうございます。

教員時代の思い出は数え切れないほどあります。大学を出たばかりで、いきなり1年2組の男子クラスの担任を持ちました。生徒たちと持久走大会で一緒に走ったり、紫紺祭のステージで歌ったり踊ったりしたことなど。新任の頃は、朝のホームルームなどなく、授業の時に出勤していたと思います。教室は生徒も教職員も土足でした。30歳過ぎから長距離を走るようになり、国内、海外でマラソンに参加するようになりました。現在もフルマラソンに挑戦していますが、タイムはひどいものです。

皆様も、人生に悔いが残らないよう、健康に留意してください。

# 藤崎八幡宮秋季例大祭

## 伝統を紡ぎ次の代へ託す

師馬奉納紫紺会 隊長 富田 修成 (46期)



本年度の師馬奉納紫紺会の隊長を務めました46期の富田です。

新型コロナウイルス禍の影響で中止された2年間。昨年はわずか18団体という中で副隊長として秋季例大祭に参加しました。副隊長としての務めを果たしながら、祭りに参加する先輩後輩の皆さんと出会い、そして楽しみ盛り上がる。そんなかけがえのない時間や絆づくりの架け橋の一役を担い、祭りの素晴らしさ体感した昨年の勢いのまま、今年度は隊長として久しぶりに会う46期の同級生と突き進んだ1年でした。

10年ぶりの同窓会を開き、集まった約40名の半数は県外在住にも関わらず、多くの同級生から本祭や御旅所の手伝いから寄付などのご協力をいただきました。その中には、高校時代はあまり交流が無かった同級生も多かったのですが、祭りを機会に仲良くなることができました。そして何よりも有難かったのは、隊長を務めさせていただく中で先輩方

に様々な形でサポートいただいたことです。辛いときにはいつも「隊長は大変だけれども頑張れ」と声をかけていただき、不安なときには話を聞いてもらい、そんな後押しがあったからこそ「絶対に祭りを無事に成功させよう」と最後まで頑張ることができました。正直、隊長を務めることが決まった当初は、隊長という責務にとってもきついイメージがありました。しかし、終わってみれば祭りを通じて繋がった先輩後輩や46期の人々と楽しんだ、とても良い時間だったとしみじみ感じています。私も諸先輩方にしていただいたように、紡がれてきた伝統を次に託す思いで後輩たちが祭りの素晴らしさを体感できるようにサポートし、来年も素晴らしい祭りにしていきたいです。

末筆ながら、このような機会を今に紡ぎ続けてきた多くの諸先輩方に心から御礼申し上げます。本当にありがとうございます！



### ◆令和5年度 寄付一覧◆ (敬称略 順不同)

46期一同、大野会長、熊本学園大付属高校同窓会 紫紺会、熊本めくみの園・バラ園 35期 佐土原護、(株)重建、明和グループ 川口圭介、川口英之介、(株)前田産業、(株)前田環境クリーン、熊本学園大付属高校、BAR あやな、(株)フレンド 杉野、ハコニワ、熊本アイ・ビー産業(株)、(株)すがコーポレーション 菅 聖、東亜シルク(株) 4期 長野和男、珈琲回廊、松本実業スナックゆうこ、LOVE GLOSS、おてもやん、炭焼き Kobayashi、木村光男、ちゃおず、ハッピーズポテト、(有)原田建設、花畑吟魚こんや、うな雅、(株)ZOUZA、(有)山根工業所、(有)島田吹付塗装、(有)浅野工務店、(株)八起建設、(有)サンケン、熊本トヨペット(株)、スナック明星パンチ、(有)パワーズ 酒とめし RIKI、寿司・懐石 火の国、(財)杏仁会 青明病院、江南病院、介護老人保健施設 フォレスト熊本、ありさ、ヴィヴィット、熊本酸素、(株)キューテック 牧野雄一郎、(株)山代電機製作所 山代峰也、ダイキンHVAC/ソリューション九州(株)、中立電機、明光電機、富士商会、(株)シラミズ、(株)共立電気、プラチナ、ラウンジ涼、popola、32期 高濱知佳、焼鳥呑みてい 25期 木村圭治、寿山、浅草屋、鳥亭、円の家 24期西岡、大窪栄一土地家屋調査士、テラス、鳥生、旨肉食堂ホルモンマン、36期 佐藤健次、旬家はちどり、食堂ままかり、オートウイング 津川信行、Neo Style、毛利健太郎司法書士事務所、The Bar Amber、(株)中川建設工業、川口電気、ひがし電工社、アクアワークス、(株)篠田板金、(有)インテリアワールド、かやのき、(株)山下建設、(株)竹屋金物店、斉藤工業、(株)熊本外装、(株)池田工業、(株)宇佐美工業、(有)弾丸実業、(有)ゼンユー企業、(株)熊本建設(株)、(株)装進プランニング、(有)熊床産業、山本屋、ハイファイブ(株)、焼き鳥うちわ、コグマ、巧新(株)、合資会社 宗富次商店、(有) Daiwa、(株) LAN-ING アルファ、(有)齊藤クレーン、熊本総合設計(株)、(株)廣島、オフィスエスピーケー、ライトクラフト、(株)アートパーテーション、フジブラ、(株)平成広告宣伝事務所、MARC DESIGN、RIPE HAIR 廣瀬伸安、(株)アミター (坪六)、熊本トヨペット(株) 齊藤相談役、アミイ(株)、一新会、15期 島村昌宏、資産総合鑑定(株) 12期 西川毅彦、QUATTRO 有馬拓郎、31期 安武光輝、ニュー天花 井上、(株)南栄開発 17期 齊藤 忠、(株)ハイコム 甲斐達也 (au 熊本下通店)、天眞爛漫、KOTORA、ひよご鳥、PERAO、(株)トゥエルヴ、ニューホテル熊本、丸米、シモイチ 山口、クラフトビール KAEN、スナックコトラ、山中真智、酒湊、大森 大島、徳永雅三、和壇、キャサリンズ's BAR 19期 藤本清美、RAC コーポレーション 山代真貴、スナック KAGUYA、15期 長野英子、佳山、九機工業(株) 6期 梨子木和秀、(株)こざき 13期 古崎正敏、熊本旅行(株)、ポーラ化粧品熊本中営業所 2期 西村隆一郎、社会福祉法人 環友会、30期 松川優子、(株)エス・エス・齋藤、メンバーズ ウィンズ、プレリウド 坂本、村上雄一、日の丸産業(株)、木野古美術店、(株)みらい、三浦造船所、菅組、エストホーム、IRIS、料亭松葉、富永徹裕、(有)エイアンドケイ企画、相撲寿司 大砲部屋、おもちゃ、ツーセカンド、イスマ商事(株)、(株)みらい VISION、(株)高見商店、グランピングカフェバー・ゴング、司法書士松岡和孝、29期 古川雅敏、クロスビート、すなっくさくら、(株)エム・エイト、ベルボナール、西澤空設工業 西峰会西澤、真珠のファースト 西峰会園田、ウェーブ 荒木貴夫、COMEGHEAD 上乃裏店、(株)クリエイティブ・シコン、(株)コスギ不動産 小杉康之 Feliz hair and clothing、VIPERS ROOM、乙女の隠れ家、ひのくま整骨院、トルコ食堂タムム、マリッジ、櫻崇文、ホテル日航熊本、酒馬 成蔵、慈愛園 子供ホーム、介護老人施設 湧心苑、燈、西野文人、ラウンジクイン、酒場Ⅳ、下通紫菜会、銀杏 藤田幸子、銀杏釜めし、いちごや 内田昌宏、きじや、ながいた、山本たばこ店、(有)相生プランニング 豊原新吾、(株)コウセイ、15期 家入浩一、15期 富田 伸、ピンクウォーター 猿渡由紀 清田由紀、(株)ニコニコ不動産、34期 山田高大、クリーニングのフレンド 27期内田貴夫、温石惣菜、ラ・ベレッツァ 19期 上野真裕、Jellyfish 松永正行、ワンスフィールド、11期 藤本佳旦、ATTC(株)、旭緑化開発(株)、居酒屋そら、エステサロンモンナンジュ、三五、熊 KEN、スペインバル バレンシア、らしく。、スワン、チアーズ、丁子屋、丸丸こんにやく八十七商店

※名称の誤り等ご容赦願います

(文責：師馬奉納委員会)

年に一度だけ あの頃に戻ってみませんか？

熊本学園大学付属中学高等学校 同窓会

# 令和6年度 紫紺会 新春大同窓会

**日時** 令和6年1月27日(土)/18:00~20:00

**会場** KKRホテル熊本 2F 〒860-0001 熊本県熊本市中央区千葉城町3-31  
TEL 096-855-0121 / FAX 096-855-7955

**会費** お一人様 7,000円

**お問合せ** 事業活動委員会 委員長 浅野(33期)/090-7163-5101まで



紫紺会  
Facebook

## 代表幹事メッセージボード

9期

9期生の皆様へ 恒例の9期同窓会を下記の日程で開催します。

日時：令和6年4月6日(土曜日)

受付：17時30分

開宴：18時会場；熊本ホテルキャッスル

会費：10,000円

幹事：上野・貝塚

皆様のご参加をお待ちしています。

代表幹事 上野 和徳

12期

12期のみんな元気ですか。今回の古稀の年祝い会は同級生の一割に満たない出席者でした。次の喜寿の歳祝いは倍以上の出席者となるようによろしくお願いします。

代表幹事 白杵 和孝

16期

16期の皆様へ同窓会の連絡です。来年が66歳ですので、ロクロク寿での同窓会に予定変更で準備始めました。

代表幹事 藤木 勝幸

17期

「令和6年は、我が17期生が高齢者の仲間入りをする目出度い歳。新春大同窓会で元気に顔合わせし、共に盛り上がりましょう！」

代表幹事 山下 慶一郎

23期

23期の同窓会を開催します。令和6年1月2日(火)12時、熊本ホテルキャッスル。皆さんお待ちしております。

代表幹事 川口 修

令和5年度 収支予算案

令和5年4月1日～令和6年3月31日

科 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	前年度決算額	(A)-(B)
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
①基本財産運用収入				0
受取利息				0
②受取入金	4,190,000	4,020,000	3,700,000	170,000
入金収入	4,190,000	4,020,000	3,700,000	170,000
③受取会費	3,200,000	3,000,000	2,770,000	200,000
年会費収入	2,200,000	2,500,000	1,800,000	△ 300,000
終身会費収入	1,000,000	500,000	970,000	500,000
④事業収益	4,700,000	4,900,000	3,440,000	△ 200,000
懇親会費(大同窓会)	2,800,000	3,000,000	2,196,000	△ 200,000
懇親会費(歳祝いの会)	1,600,000	1,700,000	1,244,000	△ 100,000
現役部活動会(事業活動委員会)				0
事業収入(事業活動)				0
広告収入	300,000	200,000		100,000
⑤補助金等収入	0	500,300	5,372	△ 500,300
受取寄付金		500,000		△ 500,000
補助金等		300	5,372	△ 300
事業活動収入計	12,090,000	12,420,300	9,915,372	△ 330,300
2 事業活動支出				0
①事業費	8,350,000	8,830,000	7,090,266	△ 480,000
広報・情報委員会	3,050,000	2,830,000	2,743,985	220,000
事業活動委員会				0
大同窓会	2,500,000	2,800,000	2,200,659	△ 300,000
歳祝いの会	1,700,000	2,000,000	1,415,092	△ 300,000
青年部委員会	150,000	200,000		△ 50,000
財務委員会	50,000	100,000		△ 50,000
飾り馬奉納支援金	100,000	100,000	100,000	0
紫紺経済同友会	100,000	100,000		0
クラブ奨励金	100,000	100,000	100,000	0
卒業記念品費	600,000	600,000	530,530	0
特別活動事業費				0
②会議費	370,000	550,000	388,542	△ 180,000
総会費	150,000	50,000	199,870	100,000
役員会費	120,000		92,852	120,000
代表幹事会費	100,000	500,000	95,820	△ 400,000
③管理費	2,060,000	1,640,000	1,486,068	420,000
事務局費	1,000,000	1,200,000	898,006	△ 200,000
事務局要員費	440,000		122,866	440,000
学年同窓会開催支援金	150,000	100,000	131,072	50,000
会員名簿委託管理料	110,000			110,000
新聞広告費	50,000	50,000	41,800	0
旅費交通費	100,000	50,000	46,600	50,000
慶弔費	60,000	60,000		0
雑費	150,000	180,000	245,724	△ 30,000
事業活動支出計	10,780,000	11,020,000	8,964,876	△ 240,000
事業活動収支差額	1,310,000	1,400,300	950,496	△ 90,300
II 投資活動収支の部				0
1 投資活動収入	0	0	0	0
投資活動収入計				0
2 投資活動支出				0
特定資産(指定正味財産)の取得				0
奨学金事業引当資産繰入(定期預金)				0
記念事業引当資産繰入(定期預金)	1,000,000	500,000	0	500,000
投資活動支出計	1,000,000	500,000	0	500,000
投資活動収支差額	△ 1,000,000	△ 500,000		△ 500,000
III 財務活動収支の部				0
1 財務活動収入	0	0	0	0
財務活動収入計				0
2 財務活動支出	0	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0	0
投資活動収支差額				0
III 予備費支出				0
予備費				0
当期収支差額	310,000	900,300	950,496	△ 590,300
前期繰越収支差額	26,976,113	26,025,617	26,025,617	950,496
次期繰越収支差額	27,286,113	26,925,917	26,976,113	360,196

紫紺会 令和5年度 事業計画 (2023年4月～2024年3月)

月 日 曜	行 事	場 所	時 間	主 な 内 容 等	担 当
4 12 水	代表幹事会	パレオ会議室	19:00~20:30	年祝い・総会について	事務局
5 10 水	常任理事会	流通情報会館	19:00~20:30		事務局
5 16 火	決算・会計監査	紫紺会事務局室	19:00~20:00		財務委員会
6 3 土	通常総会	ホテル日航熊本	18:00~18:30		事務局
6 7 水	紫紺年祝いの会		19:00~21:00		事業活動委員会
7 8 土	代表幹事会	パレオ会議室	19:00~21:00		事務局
7 12 水	紫紺経済同友会総会 年祝いの会・奨励賞授与式	松屋本館	18:00~		経済同友会 委員会
8 9 水	常任理事会	流通情報会館	19:00~20:00		事務局
8 13 水	代表幹事会	パレオ会議室	19:00~21:00		事務局
9	飾り馬 慰問				飾り馬奉納実行委員会
	飾り卸	藤崎八幡宮			飾り馬奉納実行委員会
	藤崎宮秋季例大祭	藤崎八幡宮			飾り馬奉納実行委員会
10 11 水	100%・代表幹事会	パレオ会議室	19:00~21:00	次期会長の承認及び大同窓会について	事務局
11 8 水	常任理事会		19:00~21:00		事務局
12 13 水	代表幹事会	パレオ会議室	19:00~21:00		事務局
1 3 水	20歳の同窓会			成人式を迎える期の同窓会を支援する	青年部
1 10 水	代表幹事会	パレオ会議室	19:00~21:00	大同窓会について	代表幹事会
27 土	新春大同窓会		19:00~21:00	年頭のご挨拶・奨励賞授与	事業活動委員会
2	東京紫紺会総会・交流会				東京紫紺会
14 水	常任理事会	流通情報会館	19:00~21:00		事務局
3 2	紫紺会入会式	高校にて		新卒業生の入会式	事務局・広報委員会
3	学園大学付属高等学校卒業式				会長

会費納入のお願い

同窓会活動は長きにわたり活発に展開されています。これも同窓生の皆様によるご協力のたまものと感謝申し上げます。活動には、最低限の資金を必要とし、皆様の会費によって支えられている事をご留意いただき、どうか早めの会費納入をお願いいたします。

- 会 費 3,000円
- 納 期 早目の納入をお願いします。
- 納入方法 同封の振込用紙にて、郵便局または振込用紙裏に記入してあるコンビニエンスストアでご送金いただくか、下記口座に直接お振込下さい。

【お振込先】

銀行振込の口座番号は下記の通りです。なお、銀行口座引き落としをご利用の方は新たに振込みの必要はありません。

- ・肥後銀行 県庁支店 普通口座 口座番号 1303908  
熊本学園大学付属高校紫紺会
- ・熊本銀行 水前寺支店 普通口座 口座番号 0259310  
熊本学園大学付属高校紫紺会
- ・熊本第一信用金庫 本店営業部 普通口座 口座番号 946549  
熊本学園大学付属高等学校同窓会紫紺会

終身会費について

今回の対象は1期～15期になります。会報誌に同封されている会費振込用紙で「終身会費」を選択し、郵便局またはコンビニにてお振り込み頂ければ完了です。翌年からは会費振込用紙は同封されません。

(終身会費 ¥10,000)

編集後記

今回の同窓会報誌「紫紺」は33回目となり、私自身広報委員長として携わらせていただき、3回目の発行となりました。発行にあたりご協力を頂きました同窓生の皆様、学校関係者の皆様からのご感想を申し上げます。  
本号は、発行時期を昨年の9月から11月へ変更させていただいております。これは、会報誌の中に例年1月に開催される大同窓会の案内を掲載してほしいとの意見を代表幹事会からいただいたことによります。お待ちいただいていた皆様には、ご不便をおかけしました。  
本委員会ではホームページやフェイスブックの更新をリアルタイムに発信しております。会の活動状況や、参加されたことのない方々が将来参加される一つの契機になればと努めております。今後にも会における最新の情報発信を通して、同窓生の方々の役に立てるよう努めて参ります。  
最後に、前回発行しました「会報紫紺 第32号」3頁における「2022年度入試 合格者数」の記載内容に誤りがありました。訂正文はホームページの「お知らせ」に掲載しております。毎年楽しみにご覧いただいております皆様へ委員会を代表し、深くお詫言申し上げます。 広報・情報委員長 宮村勇一郎 (23期生)